

令和6年7月23日

府北部5市2町で初！  
耳の聞こえにくい人のコミュニケーションをデジタル技術で支援  
窓口での会話を文字化して表示する透明ディスプレイ2台を導入

市は8月1日、市役所の窓口で、会話を文字化して表示する透明ディスプレイ「レルクリア」（2台）を設置し運用を始める。「綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例（手話コミ条例）」に関連して導入するもの。

デジタル技術を活用し、窓口での会話が聞き取りづらい人のために、会話音声を自動で文字化し、その場で透明ディスプレイに表示する。

府北部5市2町では、本市が初めて導入する。

記

1 目的、効果

透明ディスプレイ「レルクリア」と会話文字化アプリ「UDトーク」を組み合わせることで会話が見える化し、市役所窓口で職員と対話しやすくすることが目的。透明度が高く、ディスプレイ越しに相手の表情や手振りなどを確認することができる。

また、会話文字化アプリは多言語翻訳に対応しているため、外国人の窓口利用者も馴染みのある言語で職員とコミュニケーションをとることが可能。

話し方の工夫（ゆっくり話す）や筆談、すでに設置している「コミュニケーション（音声を取り取りやすくする装置）」などによる従来の方法と組み合わせて使用する。多様なコミュニケーション手段を活用することで来庁しやすい体制を目指す。

2 整備概要

（1）事業名 手話コミ条例推進事業費

（2）設置場所（2台）

本庁舎1階（市民・国保課）

西庁舎1階（障害者支援課）

（3）整備費用： 429,220円



<問い合わせ>

障害者支援課 課長 荻野聖子 電話0773（42）4254